

12月5日に開催した教育講演会は、保健師・性教育トレーナーの佐々木睦美さんをお招きし、「親が知っておきたい思春期の体と性」というテーマで御講話をいただきました。大変分かりやすい話で時間がたつのが早く感じました。内容をまとめましたので、御覧ください。



性教育って何のために必要？

- ① 性の健康と自分の体を守るためには、正しい性の情報が必要。
 - 知識があれば身を守ることができる。
 - ・性感染症・性犯罪の多発等でハイリスクな現代の子どもたち。
 - 1999年国連から発表された167カ国での調査結果では、「性教育を受けている子どもは、性的被害から身を守ることができる。」との報告。
 - ・幼児期から性教育を受けていると、思春期になっても無茶な性体験をしない傾向にある。(思春期の性体験の動機は、「好奇心」がトップ。)
- ② 自尊心を育むために、体や心の変化に関する知識が必要。

性被害にあわないために

体は誰のもの → 自分の体は自分のもの
 口・胸・性器 → プライベートゾーン
 (自分だけの大切な場所)

- ・自分以外の人許可なく、見たり触ったりしてはいけない所。
- ・嫌なことをされたらイヤと感じていい。
- ↓
- ・逃げる。誰かに話す。(相談する。)
- ・被害者は悪くない！加害者が100%悪い。

性被害の意外な事実！！

- ・小さな子ども被害にあうことがある
- ・男の子も被害にあうことがある
- ・知っている人が加害者の場合もある
- ・その場で「イヤ」が有効
- ・「誰にも言うなよ」と秘密を強要する

性教育はいつから始めるの？

生まれた時から始まっている。→幼児から思春期になるまで常に年齢に応じた知識が必要。
 性教育を大人が頭でややこしくしないで、健康・科学・安全を教えること。

- *生活リズムを整える。
- *大人自身が、子どもの身体を丁寧に扱っていく。
- *体の仕組みを科学的なこととして伝えていく。
- *体や性の話を親子でしてもいい。・・・日頃から話ができる雰囲気作りをする。

性的な発達段階とその特徴・・・「メグさんの性教育読本」より

- ① 「魔法がかった考え方をする子どもたち」・・・就学前児(3～5歳)
 - ・知的好奇心にあふれた時期。
 - ・性に関しても昆虫や動物など様々な関心事と同じ興味で聞いている。
 - ・根気よく何度聞かれても、叱らずに話す。
 - ② 「トイレにまつわる冗談が好きなお子たち」・・・小学校低学年(6～9歳)
 - ・パンツやおしりにまつわる冗談が大好き。これは生殖器と消化器系によるもので性と性の科学に興味を持ち探ろうとしている表れ。
 - ・好奇心旺盛。恥ずかしがらずに聞いてくる。
 - ・どんな質問も尊重し、性の科学と健康についての知識を与えることが大事。
 - ・月経・夢精など、思春期における体の変化についての前もった知識が必要。
- ~~~~~ 9歳の壁 ~~~~~
- ③ 「何でも気持ち悪がる子どもたち」・・・小学校高学年(10～12歳)
 - ・今まで違和感なく受け入れていたことを、何でも気持ち悪がり始める。
 - ・体の変化は切実に自分の問題になってくる。
 - ・性の健康に対して最も興味があるため、信頼関係ができていると教えやすい。
 - ・自分のプライバシーを要求し始め、他人のプライバシーを尊重するようになる。
 - ・性ホルモンの増加による、身体と心の変化が起きている。

④ 「無知なのを知らない子どもたち」……中学・高校生(13~18歳)

◎成熟した大人になる過程で2つの障害に直面しやすい時期

○友人に聞くのはカッコ悪い。(そんなことも知らないの?・・・)

・親に聞くのは恥ずかしい。

・大人から性の話は聞きたくない。 → 誰からも聞けない。

○社会全体が性に対して未熟。

・正しい情報を得る機会が少ない反面、誤った情報、過激なゆがんだ性の情報が溢れてる。

・ネットから簡単に入手できる。情報過多。

◎性欲のコントロール(自慰)について

○アダルトビデオなどの、商品化された性についての考え方を話し合う必要がある。

⑤ 性的に成熟した大人……とは?

○性的な体験を心から楽しむが、性行為が目的で生きているのではなく、性行為なしでも生きていける。

○自分に性的魅力があると感じ、パートナーも自分に魅力を感じていると自信を持っていること。

○性体験が、楽しい遊びのようなものから、底の深い神秘的なものに至るまでさまざまである。

○自分自身の性別を受け入れ、既存の男女の役割分担に左右されないこと。

○パートナーをいつも自信を持って受け入れ、かけがえのないひとりの人間として、相手の幸福と成長を積極的に求めること。

思春期とかかわる難しさ

○ 脅しや禁止、説教、指示はとどかない。 → → → → 受容と共感から。

○ 周りがなんとかしようとしなない。 → → → → できない。

○ 過去と他人は変えられない、変えることのできるのは未来と自分だけ。

○ 体や性行為について、たじろぐことなく逃げずにどこまで話ができるか。(聞けるか)

○ 子どもの気持ちに注目する。

○ 親の思いを伝える時はアイ・メッセージ(私は~を主語にした表現)で伝える。

○ 逃げ場を確保する。(追いつめない)

○ 絶対に叱らない。何かあったら誰かに話す。助けを求める。

○ つながる先、SOSを出す先を覚えておく。

○ 本などを利用する。

【参考図書と参考サイト】

- | | | |
|------------------------------------|---|-----------|
| ・「メグさんの性教育」 | メグ・ヒックリング | ビデオドック |
| ・「メグさんの女の子・男の子BOOK」 | メグ・ヒックリング | 築地書館 |
| ・「メグさんの男の子のからだところQ&A」 | メグ・ヒックリング | 築地書館 |
| ・「生命の誕生 ポップアップ」 | ジョナサン・ミラー/デビット・ペラム | ポルプ出版 |
| ・「赤ちゃん誕生」 | 文ニコル・ティラー 写真レナルト・ニルソン | あすなろ書房 |
| ・「見たい 聞きたい 恥ずかしくない! 性の本 女の子の心とからだ」 | 北村邦夫 | 金の星社 |
| ・「見たい 聞きたい 恥ずかしくない! 性の本 男の子の心とからだ」 | 北村邦夫 | 金の星社 |
| ・「学校で教えない性教育の本」 | 川野美香 | ちくまプリマー新書 |
| ・「デートDV」 | 遠藤智子 | KKベストセラーズ |
| ・「愛が暴力に変わるとき ドメスティックバイオレンス」 | 森田ゆり | 小学館 |
| ・絵本「ぼくどこからきたの?」 | ピーター・メール | 河出書房新社 |
| ・絵本「赤ちゃんはこうしてできる」 | P. H. クヌートセン | アニー出版 |
| ・絵本「おかあさんとみる性の本『ぼくのはなし』」 | 和歌山静子 | 童心社 |
| ・絵本「おかあさんとみる性の本『わたしのはなし』」 | 和歌山静子 | 童心社 |
| ・絵本「あなたが守る あなたの心 あなたのからだ」 | 森田ゆり | 童話館出版 |
| ・絵本「気持ちの本」 | 森田ゆり | 童話館出版 |
| ・「ティーンズ ボディ ブック」 | 2013.12.10発売 北村邦夫 | 中央公論社 |
| * Dr.なおみのラブ&ボディカフェ | http://www.love-body-cafe.jp/ | 産婦人科 |
| * Dr.北村のJFPAクリニック | http://www.jfpa-clinic.org/ | |

【保護者の感想】(一部)

○性については、なかなか話せることではないと思っていましたが、親子で話せることが大切だと思いました。

○曖昧な話ではなく実直な内容の講演でよかったです。是非子どもに聞かせたい話でした。

○知らないこと(男の子の性教育)に触れることができよかったです。勉強になりました。

○知らなかったこと、気付けなかったことを教えてもらえてよかったです。

